

# 「ホームレス」襲撃事件と子どもたち

いじめの連鎖を断つために

四六判並製・432p  
本体 2200 円+税  
ISBN978-4-8118-0728-7

## 第 I 部 〈ゼロ〉——大阪「道頓堀川ホームレス殺人」事件 1995-1997

被災地・神戸の金髪少年/道頓堀の「橋の子」たち/「人間」の街・釜ヶ崎/路上に生きた命  
「いじめ連鎖」という地獄/奪われた自尊感情/拘置所から届いた手紙  
いじめる側の真意/強者からの断罪/いのちへの謝罪

## 第 II 部 野宿者と子どもたち——川崎の取りくみ 1995-1997

路上から教室へ/大人たちの自問/子どもたちの本音/共生の場

## 第 III 部 いじめの連鎖を断つために——いま、なにができるか 1997-2009

2009年、冬/暴発する怒り/殺したものと殺されたもの/自尊感情の回復

エピローグ 大切なただ一人のきみへ

巻末資料 野宿者襲撃事件・略年表

上野千鶴子さん——14年をかけたこのしごとは、北村さんにとって、  
文字どおりの「ライフワーク」、いのちがけのしごととなった。

社会学・東京大学大学院教授

湯浅誠さん——襲撃する者とされる者、加害者と被害者の  
真の和解への軌跡。稀有なルポルタージュである。

反貧困ネットワーク事務局長・  
年越し派遣村村長

推薦  
します

「道頓堀事件」から14年。子どもたちによる「ホームレス」襲撃はやまない。  
野宿者襲撃は、学校でのいじめの延長線上にある——。  
前著『「ホームレス」襲撃事件』を第 I 部に収録。  
全国初の教育現場での川崎の取りくみを第 II 部に、  
この10年の襲撃事件、そして新たな取りくみを第 III 部に。  
200ページ大増補による本テーマ完全保存版として刊行……!!



北村年子 (きたむら・としこ)  
ルポライター、ノンフィクション作家。一九六二年、滋賀県生まれ。  
デビュー作『少女宣言』(長征社・一九八七)が大きな話題を呼ぶ。  
以後、女性・子ども・ジェンダーをおもなテーマに取材・執筆活動をすすめる。  
近年は「いじめ」「ホームレス問題」についての講演や、子育て・子育て支援の  
セミナー、自己尊重ワークシヨップなども精力的におこなっている。  
二〇〇八年、「ホームレス問題の授業づくり全国ネット」を呼びかけ、  
共同代表となって立ち上げる。  
二〇一〇年、「やよりジャーナリスト賞」(女性人権活動奨励賞)を受賞。  
著書に『おかあさんがもつと自分を好きになる本』(学陽書房)、  
共著に『貧困社会』(ポプラ)へ、釜ヶ崎からの発信『アットワークス』などがある。

■お問い合わせ・申し込み先

太郎次郎社エディタス 東京都文京区本郷4-3-4-3F ☎03-3815-0605 FAX 03-3815-0698 www.tarojiro.co.jp